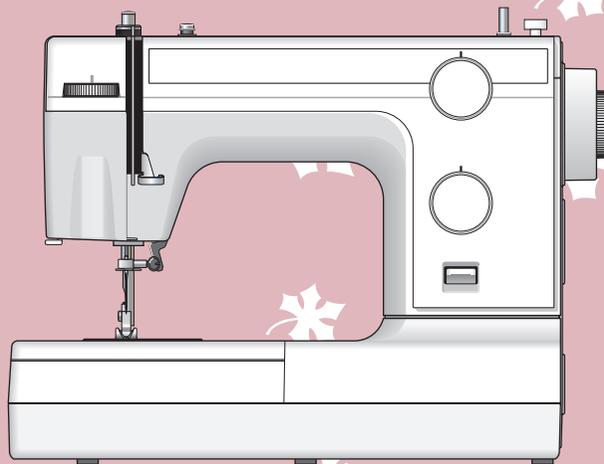


取扱説明書



JANOME

安全上のご注意

- ◆ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ◆ここに示した注意事項は、ミシンを安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- ◆お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。
- ◆このミシンは、日本国内向け家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY.

危害・損害の程度を表わす表示	 警告 この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	 注意 この表示の欄は「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。
----------------	---	---

本文中の図記号の意味	 △記号は、気を付けていただきたい「注意」の内容です。 図の中には具体的な注意内容を表示しています。(左図の場合は一般的な注意)
	 ⊘記号は、行ってはいけない「禁止」の内容です。 図の中には具体的な禁止内容を表示しています。(左図の場合は分解禁止)
	 ●記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 図の中には具体的な指示内容を表示しています。(左図の場合は一般的な強制)

 警告	感電・火災の原因になります。
 禁止	ストップ、アイロンの近くなど温度の高いところでは使用しないでください。 ミシンの使用温度は5℃～35℃です。
 禁止	スプレー製品などを使用した部屋や、引火しやすい物の近くでは使用しないでください。
 禁止	フットコントローラーのコードを傷つけたり、加工したり、はさみ込んだり、たばねたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、重い物をのせたり、高温部に近づけたりしないでください。フットコントローラーのコードおよびプラグが破損した場合は、使用しないでください。
 必ず実行	一般家庭用、交流電源 100 V でご使用ください。
 必ず実行	電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。
 必ず電源プラグを抜く	以下のようなときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 ・ミシンのそばを離れるとき ・ミシンを使用したあと ・ミシン使用中に停電したとき

 注意	感電・火災・けがの原因になります。
 禁止	フットコントローラーの上に物をのせないでください。また、ご使用の際は、周辺に糸くずやほこりがないことを確認してください。
 注意	お子様のご使用になるときや、お子様の近くでご使用される場合は、特に安全に注意してください。
 必ず実行	ミシンを持ち運ぶときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう一方の手でミシンをささえてください。
 必ず実行	プラグ受けに、糸くずやほこりがたまらないようにしてください。
 必ず実行	針および押さえは、確実に固定してください。また、押さえは、ぬいに合ったものをご使用ください。
 必ず実行	電源プラグを抜くときは、コードを引っ張らず電源プラグを持って抜いてください。
 必ず実行	以下のことを行うときは、電源スイッチを切ってください。 ・押さえ、アタッチメントを交換するとき ・上糸、下糸をセットするとき
 必ず電源プラグを抜く	以下のことを行うときは、電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。 ・ミシンのお手入れを行うとき ・針、針板を交換するとき
 必ず電源プラグを抜く	ミシンに以下の異常があるときは速やかに使用を停止し、まず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。 ・正常に作動しないとき ・水にぬれたとき ・落下などにより破損したとき ・異常な臭い・音がするとき ・コード・プラグ類が破損、劣化したとき

 注意	感電・火災・けがの原因になります。
 分解禁止	分解はしないでください。
 接触禁止	ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針・はずみ車・天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。
 禁止	ぬい中に布を無理に引っ張ったり、押ししたりしないでください。
 禁止	曲がった針や先のつぶれた針は、ご使用にならないでください。
 禁止	ミシンの通風口はふさがらないでください。

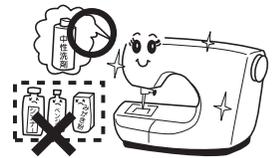
目次

●各部の名まえ	4	●返しぬいレバー	18
●標準付属品	5	●針板ガイドラインの利用	18
操作方法		●送り歯のさげ方、あげ方	18
●補助テーブル	5	各種ぬい	
●電源のつなぎ方	6	●直線ぬい	19
●ミシン速度の調節	6	●厚物ぬい	20
●押さえ上げ	7	●レザーぬい	21
●ボビンケースの外し方	8	●ジグザグぬいのたち目かがり	22
●ボビンの外し方	8	●ジグザグ密着ぬい(サテンぬい)	22
●フェルトのセット	8	●アップリケ	23
●ボビンに下糸を巻くには	9	●ボタン付け	24
●ボビンをボビンケースに入れるには	10	●パッチワーク	25
●ボビンケースをかまに入れるには	10	●つくろいぬい	25
●上糸をかけるには	11	●ボタンホール	26
●糸通し器の使い方	12	●芯入りボタンホール	27
●下糸を引きあげるには	12	ミシンのお手入れと調整	
●押さえの外し方、付け方	13	●送り歯のお手入れ	28
●押さえホルダーの外し方、付け方	13	●かまのお手入れ	28
●針の外し方、付け方	14	●注油	29
●布に適した糸や針を選ぶ目安	14	●ミシンの調子が悪いときの直し方	30
●押さえ圧調節ボタン	15		
●糸調子を出すには	16		
●模様選択ダイヤル(SELECTOR)(模様の選び方)	17		
●ぬい目のあらかさ(LENGTH)調節	17		

おとり扱いについてのお願い

◇ ご使用前に

- ① むう布を汚さないようにするため、針板付近の油やほこりなどの汚れを、乾いたやわらかい布で十分にふき取ってください。
試しぬいをして、布が汚れないことを確認してから使用してください。
- ② シンナー・ベンジン・ミガキ粉は絶対に使用しないでください。



◇ いつまでもご愛用いただくために

- ① 長時間日光に当てないでください。
- ② 湿気やほこりの多いところはさけてください。
- ③ 落としたり、ぶついたりするなど衝撃を与えないでください。

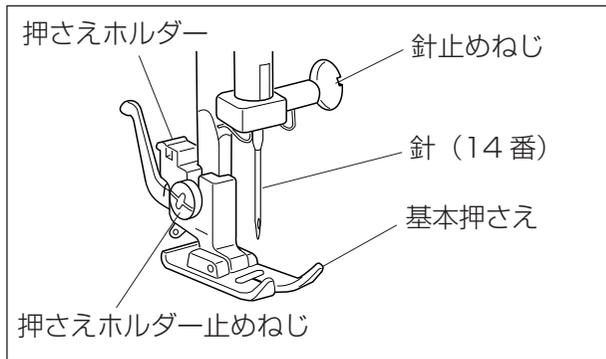
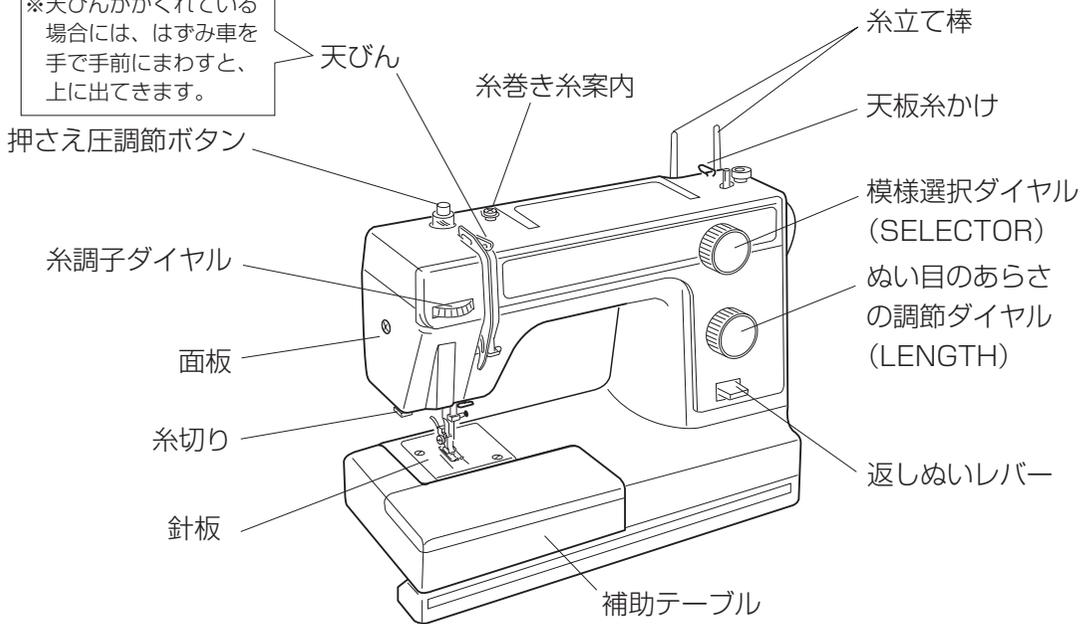


◇ 修理・調整についてのご案内

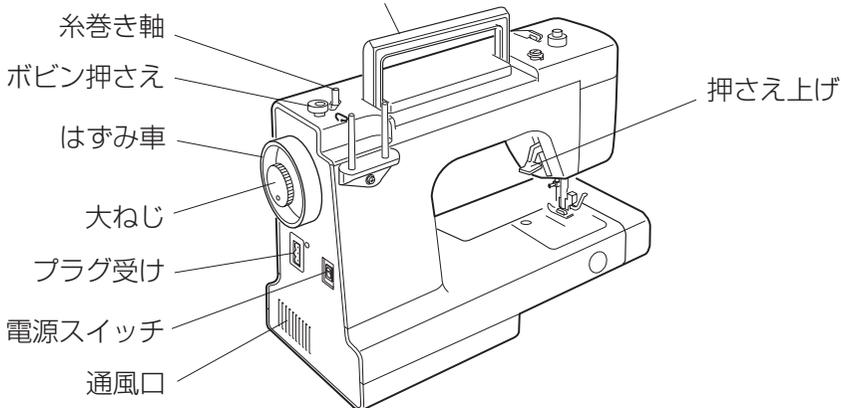
万一不調になったり故障を生じたりしたときは、「ミシンの調子が悪いときの直し方」(30ページ)によって点検・調整を行ってください。

●各部の名まえ

※天びんがかくれている場合には、はずみ車を手で手前にまわすと、上に出できます。



手さげハンドル

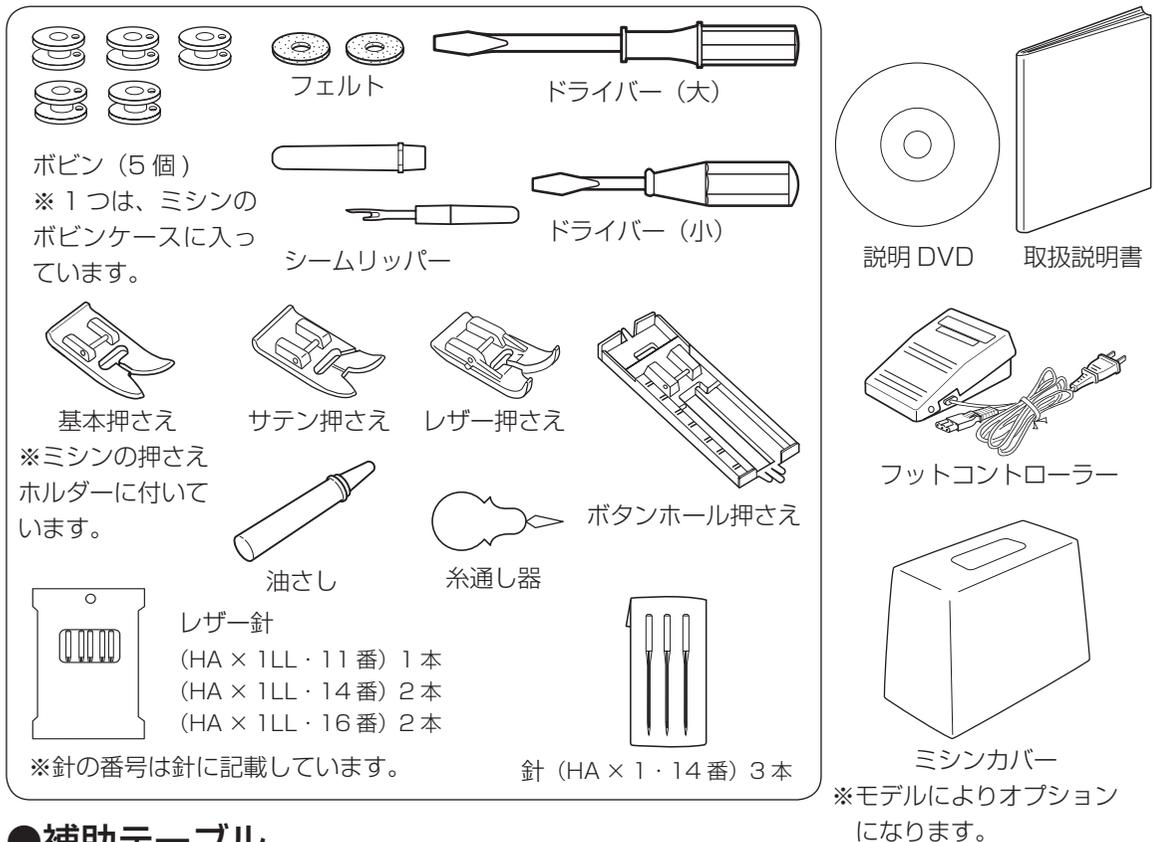


※ 製品改良等のため、部品の形状や仕様を予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

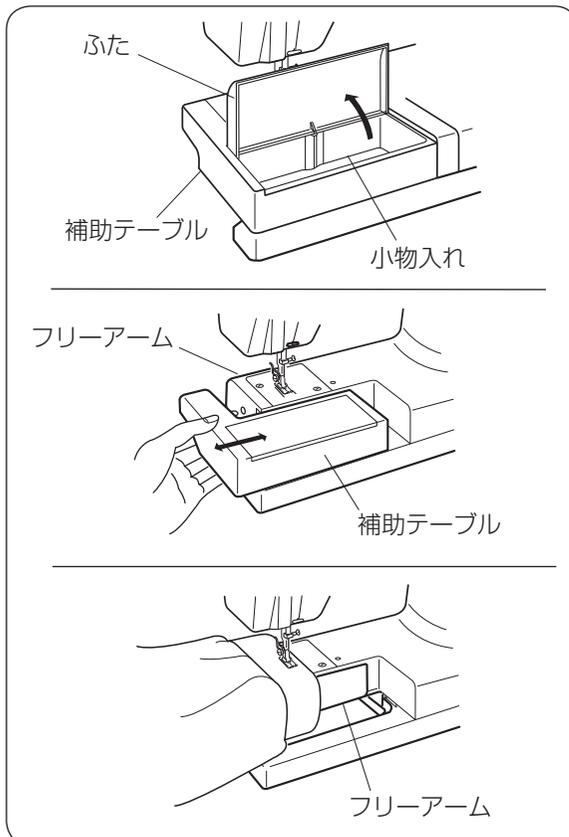
※ このミシンはうすい布のぬいには対応していません。

※ ミシンを持つときは、片手で手さげハンドルを持ち、必ずもう一方の手でミシンをささえてください。

●標準付属品



●補助テーブル



★小物入れ

補助テーブルのふたを開けると小物入れになります。
付属品や小物類を収納するために利用します。

★補助テーブルの外し方、付け方

補助テーブルの下側に手をかけ、横に引いて外します。
取り付けるときは、フリーアームにそわせ、突き当たるまで押し込んで取り付けます。

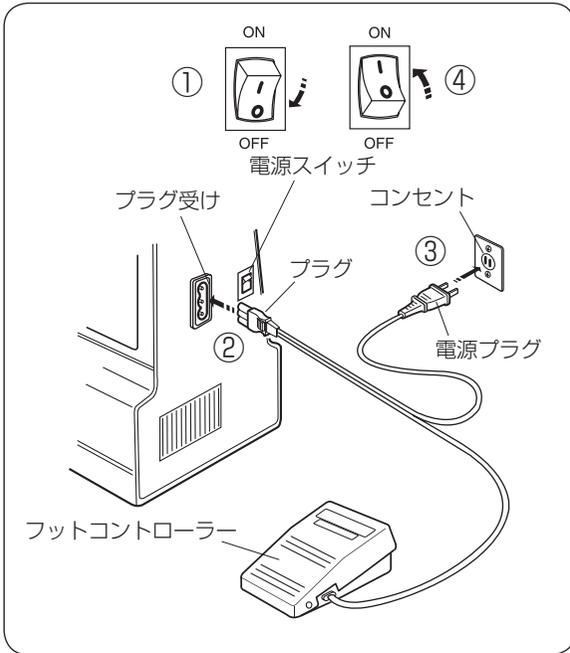
★フリーアームの使い方

補助テーブルを外すとフリーアームになります。
そで口やすそなどのぬい、および袋物の口端の始末に利用できます。

●電源のつなぎ方

⚠ 警告

- 電源は、一般家庭用交流電源 100 V でご使用ください。
- ミシンを使わないときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。感電・火災の原因になります。
- 電源プラグは定期的に乾いた布でふき、ほこりなどを取り除いてください。ほこりなどが付着していると湿気などにより絶縁不良となり火災の原因になります。



① 電源スイッチを「OFF」(切) にします。

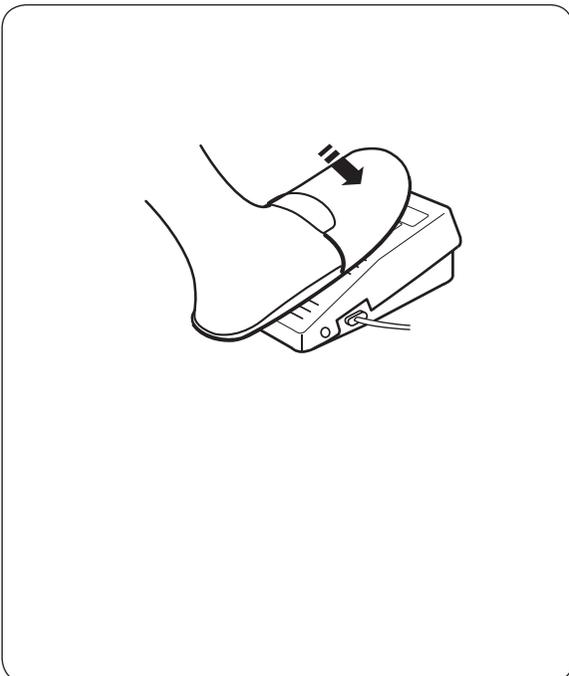
② プラグをプラグ受けに差し込みます。

③ 電源プラグをコンセントに差し込みます。

④ 電源スイッチを「ON」(入) にします。

※ 必ず付属のフットコントローラーを使用してください。

●ミシン速度の調節



ミシンの速度はフットコントローラーのふみ込かげんで、ぬう速さが調節できます。

浅くふむ..... おそくなる。

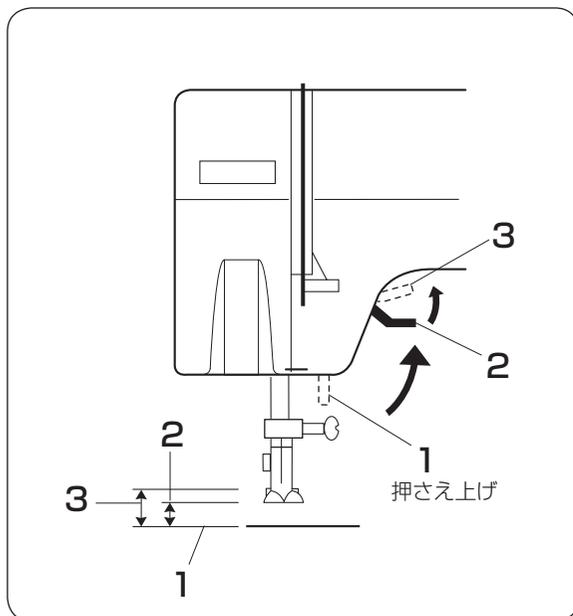
深く込む..... はやくなる。

※ フットコントローラーをふみ込んでもミシンが動かない場合は、もう一度電源を入れなおして、フットコントローラーをゆっくりふみ込んでください。

⚠ 注意

- フットコントローラーの上に物を置かないようにしてください。けがや故障の原因になります。
- フットコントローラーを使用する際は、周辺に糸くずやほこりがないことを確認してください。動作不良を起こし、けがや故障の原因になります。

●押さえ上げ



押さえ上げで押さえのあげ下げを行います。
押さえ上げは普通にあげた位置よりさらに高くあげることができ、厚い布を入れるときなどに利用します。

1 さげた位置

ぬいものときには、さげておきます。

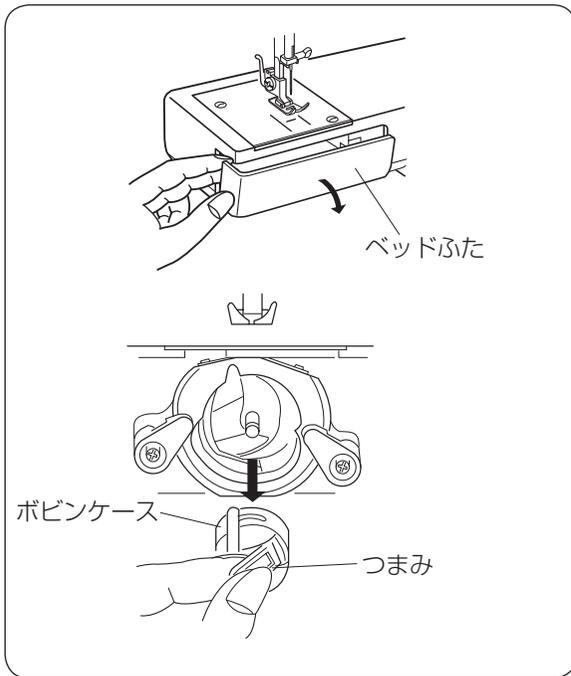
2 普通にあげた位置

布の取り出しや、上糸かけ、押さえの交換などのときにあげます。

3 さらにあげた位置（固定はできません。）

厚い布が入れやすくなります。

●ボビンケースの外し方

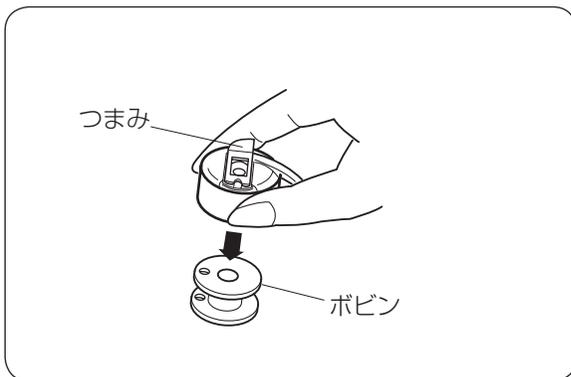


⚠ 注意

ボビンケースを外すときは、必ず電源スイッチを切ってください。
けがの原因になります。

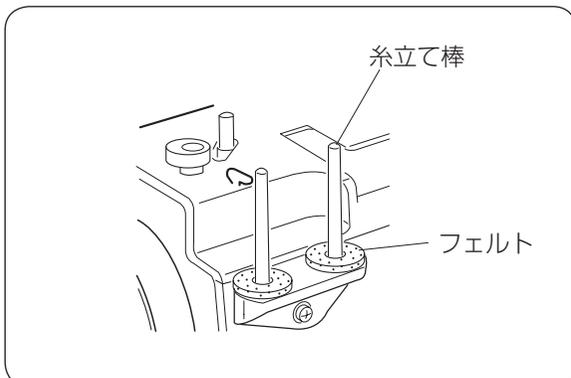
- ① はずみ車を手で手前にまわして、針をあげます。
- ② 補助テーブルを外します。(5 ページ参照)
- ③ 押さえ上げをあげ、ベッドふたを開けます。
- ④ ボビンケースのつまみをおこして、取り出します。

●ボビンの外し方



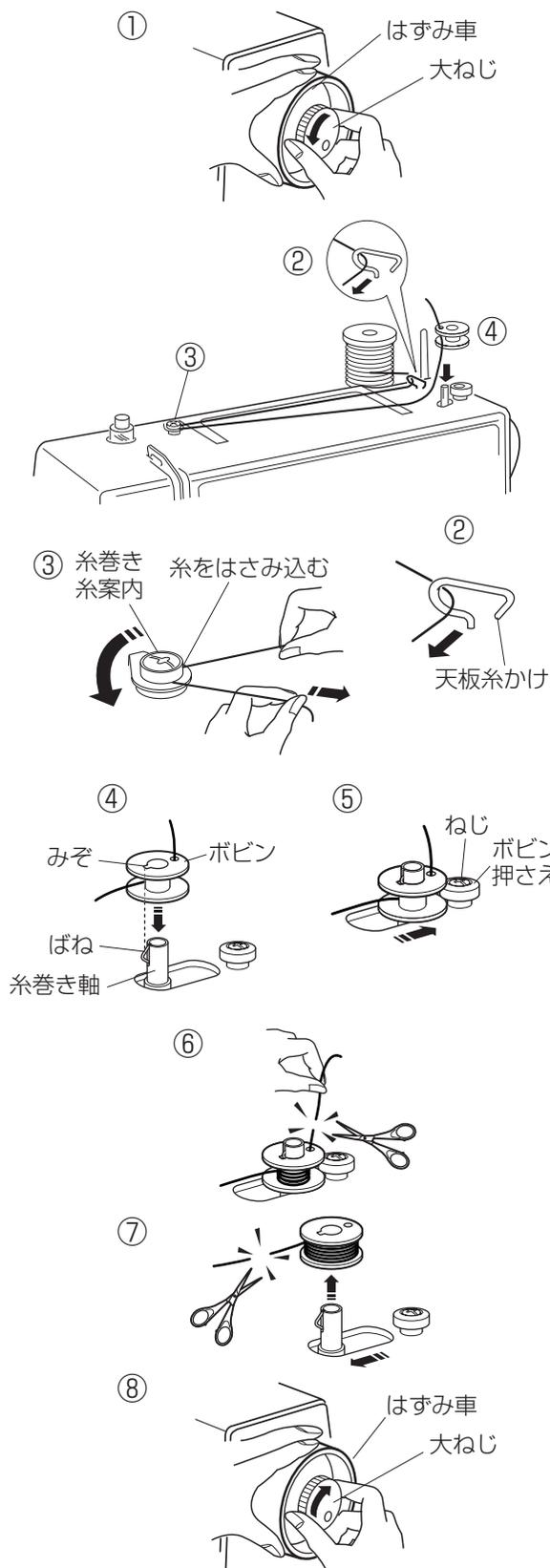
ボビンケースのつまみを閉じて下に向けると、ボビンが外れます。

●フェルトのセット



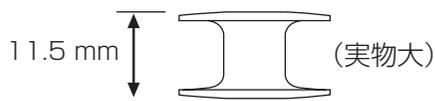
フェルトは、糸立て棒に差し込みセットしてください。

●ボビン到下糸を巻くには



お願い

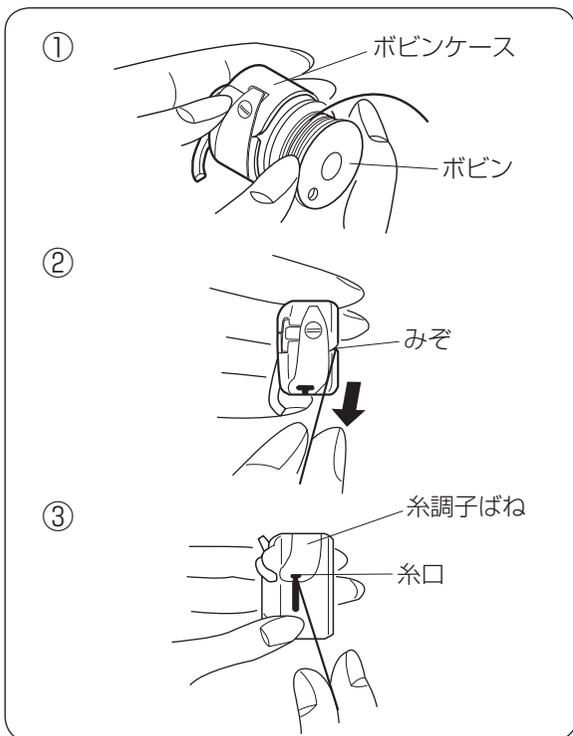
- ボビンは当社専用のプラスチックボビンを使用してください。
(お買い上げの販売店へご相談ください。)



- 金属ボビンは使用しないでください。
糸調子の不具合や、故障の原因となります。
- ナイロン透明糸およびメタリック糸は、
下糸には使用しないでください。

- ① はずみ車を押さえて、大ねじをゆるめます。
- ② 糸こまから引き出した糸を天板糸かけにかけます。
- ③ 糸こま側の糸を軽く押さえ、糸巻き糸案内に向こう側からかけて手前に出します。
糸巻き糸案内に糸をしっかりとさみ込むようにかけ矢印方向に引きます。
- ④ 糸の先をボビンの穴に内側から通し、ボビンのみぞと糸巻き軸のばねを合わせて、糸巻き軸にボビンを差し込みます。
- ⑤ ボビンをボビン押さえの方に押し付け、糸巻き位置にセットします。
※ ボビン押さえのねじはさわらないでください。部品が外れることがあります。
- ⑥ 糸の端を指でつまんだままミシンをスタートさせ、ボビンに糸を約3秒間巻き付けたらミシンを止めます。
穴のすぐ近くでつまんでいる糸を切ります。
- ⑦ 再びミシンをスタートさせ、下糸を巻き終わったらミシンを止めます。
糸巻き軸をもとにもどして糸を切り、糸巻き軸からボビンを外します。
※ 糸巻き軸の移動は、必ずミシンを止めてから行ってください。
- ⑧ はずみ車を押さえて、大ねじをしめます。

●ボビンをボビンケースに入れるには

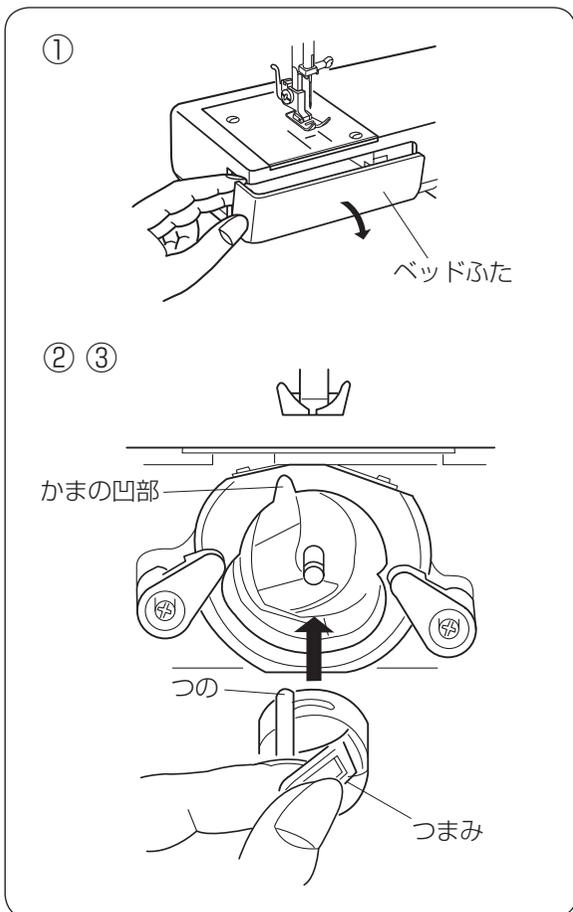


① 下糸を巻いたボビンを、図の方向（時計回り）に糸の端をたらし、ボビンケースに入れます。

② みぞに糸を通します。

③ 糸を引いて、糸調子ばねの下を通し、糸口に引き出します。
糸は 10 cm 程引き出しておきます。

●ボビンケースをかまに入れるには



⚠ 注意

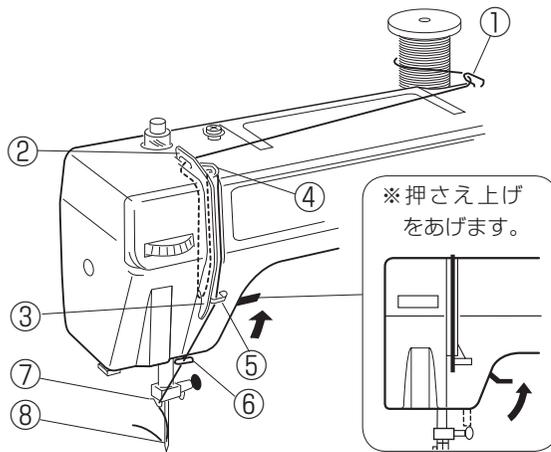
ボビンケースをかまに入れるときは、必ず電源スイッチを切ってください。
けがの原因になります。

① 針をあげ、ベッドふたを開けます。

② ボビンケースのつまみを起こして、かまに取り付けます。

③ ボビンケースのつのを、かまの凹部に合わせ、奥の方へいっぱいに入れてからつまみをはなし、ベッドふたを閉めます。

●上糸をかけるには

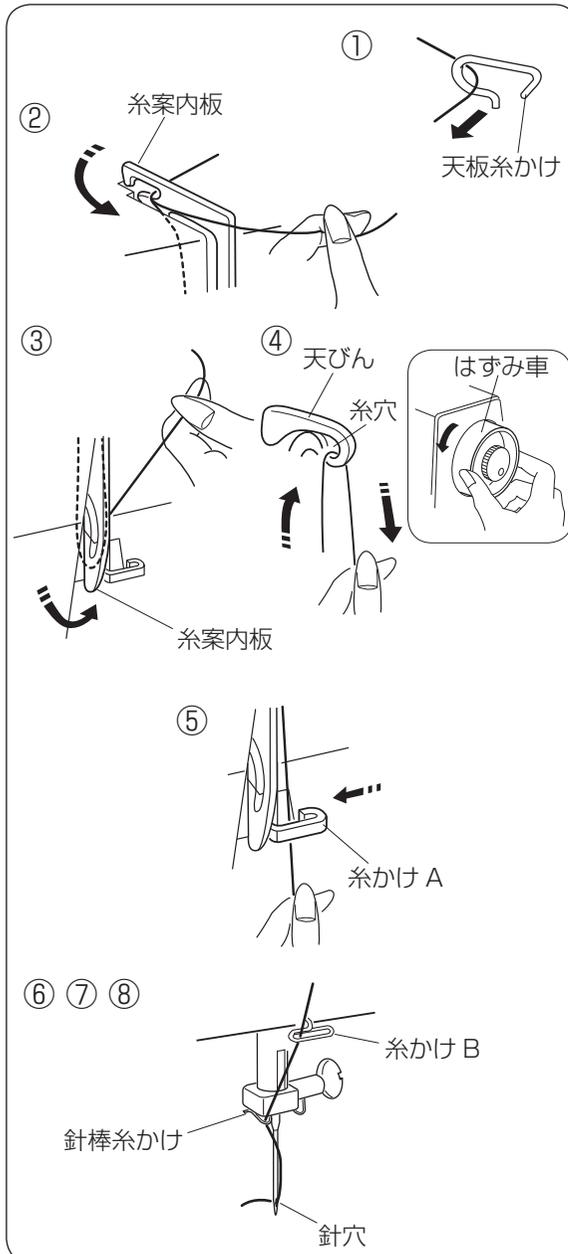


⚠ 注意

上糸をかけるときは、必ず電源スイッチを切ってください。
けがの原因になります。

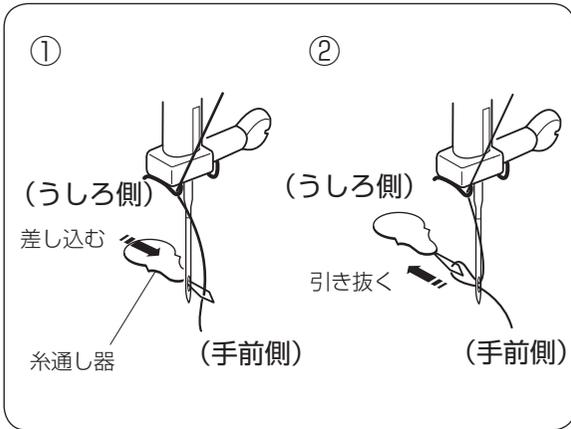
お願い

上糸をかけるときには、必ず**押さえ上げをあげ**てください。正しい糸かけができないだけでなく、ぬい不良の原因になります。



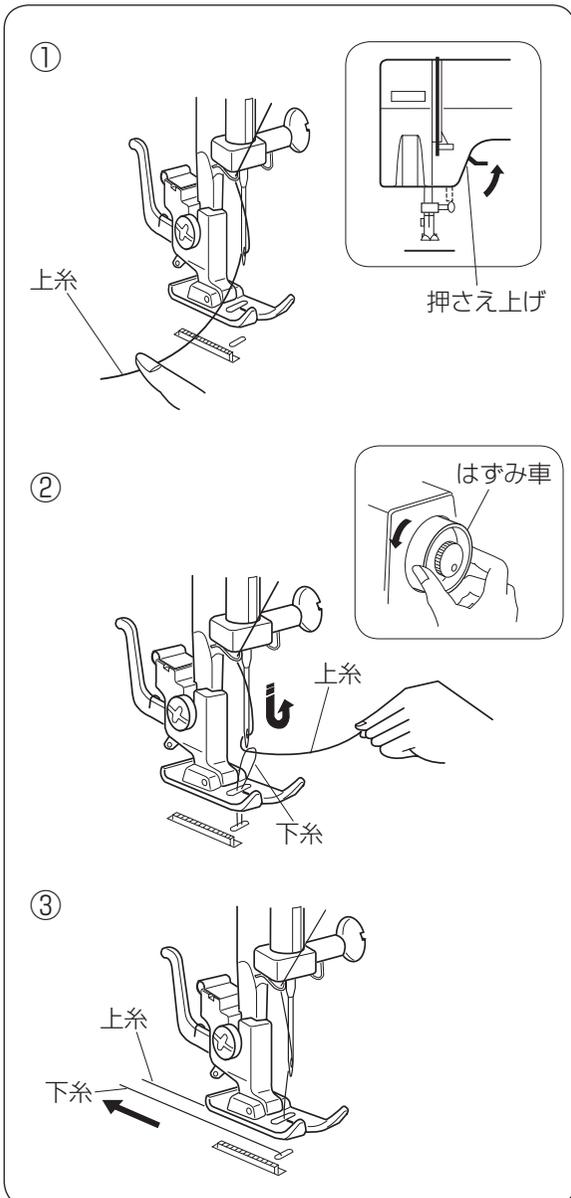
- ① 天板糸かけに糸をかけます。
- ② 押さえ上げがあがっていることを確認します。
糸こま側の糸を軽く押さえながら、糸案内板に左からかけ、糸案内板にそっておろします。
- ③ 糸案内板の下をまわして、左から右にかけ、上に引きあげます。
- ④ はずみ車を手で手前にまわし、天びんを上部にあげます。
糸を天びんの左からうしろへまわして右に出し、糸穴に入れます。手前に引き出してまっすぐ下におろします。
※ 糸を糸穴にしっかり入れてください。
- ⑤ 糸かけ A に右からかけます。
- ⑥ 糸かけ B に右からかけます。
- ⑦ 針棒糸かけに左からかけます。
- ⑧ 針穴には、糸通し器を使用して通します。
※ 糸通し器の使い方は 12 ページをごらんください。

●糸通し器の使い方



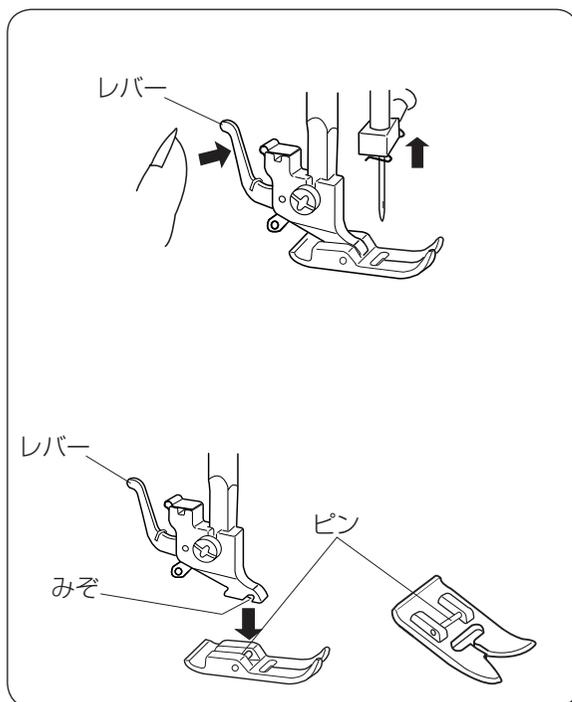
- ① 糸通し器をうしろ側から針穴に入れます。
 - ② 糸をワイヤーの中に入れて、糸通し器をうしろ側へ抜き、糸をうしろへ出します。
- ※ 糸が針の手前側からうしろ側へ通っていることを確認してください。
- ※ 糸の端は向こう側へ 10 cm ほど引き出しておきます。

●下糸を引きあげるには



- ① 押さえ上げをあげ、糸の端を指で押さえておきます。
- ② はずみ車を手前にまわし、針をいったんさげてから再びあげます。
上糸を軽く引くと、下糸の輪が引き出されます。
- ③ 下糸と上糸を、押さえの下から向こう側へ約 10 cm 引き出して、そろえておきます。

●押さえの外し方、付け方



⚠ 注意

押さえの取り外し、取り付けは、必ず電源スイッチを切ってください。けがの原因になります。

《外し方》

- ① 手ではずみ車を手前にまわして針をあげ、押さえ上げをあげます。
- ② 押さえホルダーのレバーをうしろ側から手前に押し、押さえを外します。

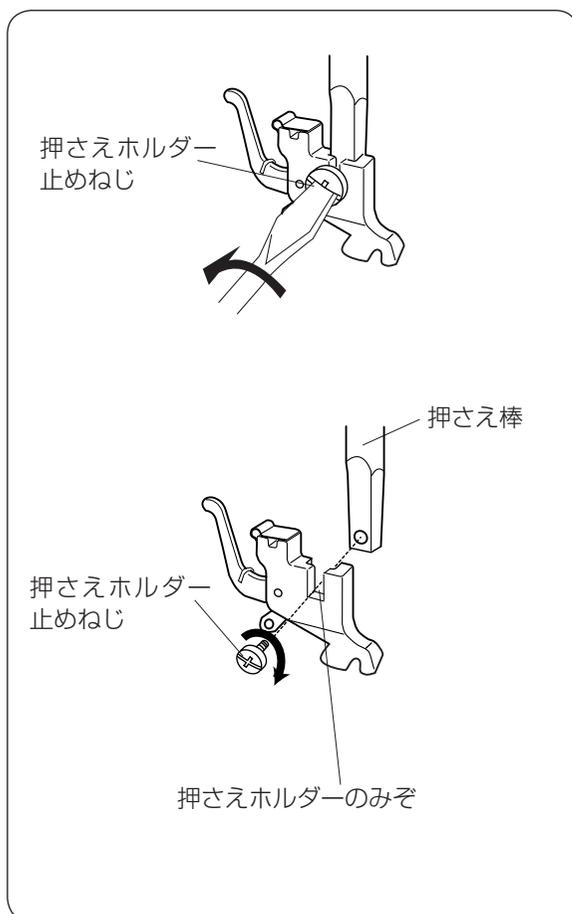
※ 押さえ上げのあげ方は、「●押さえ上げ」(7ページ)をごらんください。

※ 押さえを無理に引いて、外さないでください。

《付け方》

- ① 押さえのピンを押さえホルダーのみぞの真下において、押さえ上げをゆっくりさげます。

●押さえホルダーの外し方、付け方



⚠ 注意

押さえホルダーの取り外し、取り付けは、必ず電源スイッチを切ってください。けがの原因になります。

《外し方》

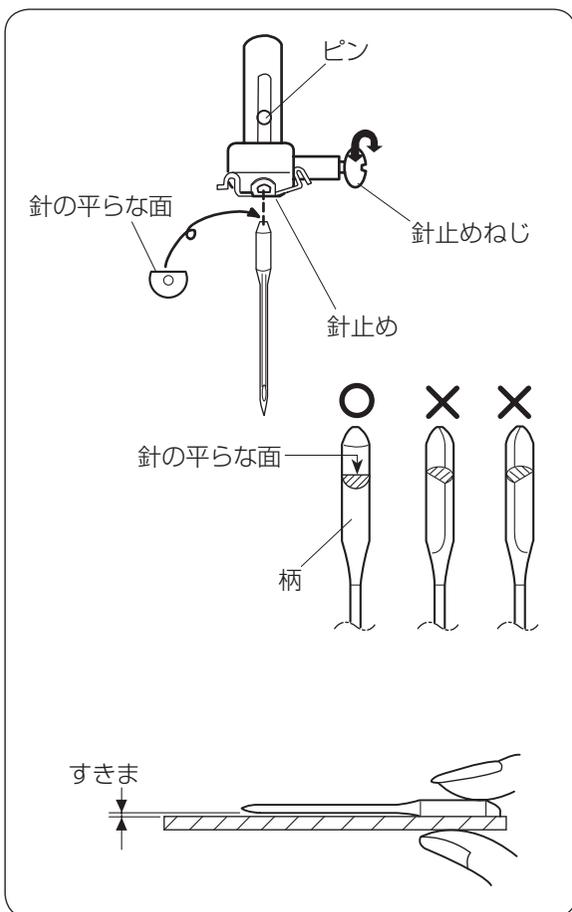
- ① 押さえ上げをあげます。
- ② 押さえホルダー止めねじをドライバーで左にまわしてゆるめ、押さえホルダーを外します。

《付け方》

※ 押さえホルダーは、押さえが付いた状態で取り付けてください。押さえが付いていないと正常な取り付けができません。

- ① 押さえ上げをあげます。
- ② 押さえホルダーのみぞを、押さえホルダー止めねじに差し込み、押さえホルダー止めねじを軽くしめて仮止めしておきます。
- ③ 押さえ上げをさげ、押さえホルダー止めねじを一度少しゆるめてから、押さえが針板に押し付けられた状態で押さえホルダー止めねじをドライバーで右にまわしてしっかりとします。

●針の外し方、付け方



⚠ 注意

針の交換は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。けがの原因になります。

- ① 針止めねじを手前に1～2回まわしてゆるめ、針を外します。
 - ② 針の柄の平らな面を向こう側に向けて、針止めに差し込み、針をピンに当たるまで入れます。
 - ③ 針止めねじを向こう側にまわして、かたくしめます。
- ※ 針が正しく付けられていないと、糸通しができないだけでなく、針がゆるんで針折れして危険です。

《針の選び方》

※ 針の太さを示す番号は、柄に表示してあります。数字が大きくなれば太くなります。

《針の調べ方》

針の平らな面を平らな物（針板など）に置いたとき、すきまが針先まで均等に見えるのがよい針です。針先が曲がったり、つぶれているものは使わないでください。

●布に適した糸や針を選ぶ目安

※ 針は必ず、家庭用ミシン針（HA × 1）を使用してください。

	布	糸	針
普通の布	シーチング ジャージー 一般ウール地	綿糸 60番 ポリエステル、ナイロン 50～90番	11番～14番
		綿糸 50番	14番
厚い布	ツイード コート地	綿糸 40番～50番 ポリエステル 40番～50番	14番～16番
	デニム	【フジックス】バッグ用細タイプ 30番	【オルガン】デニム、 ジーンズ用 16番
中厚皮革		キングレザー糸 30番	レザー針 14番
厚手皮革			レザー針 16番

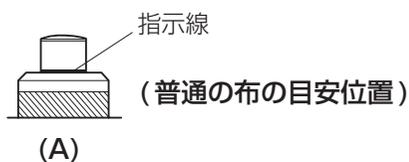
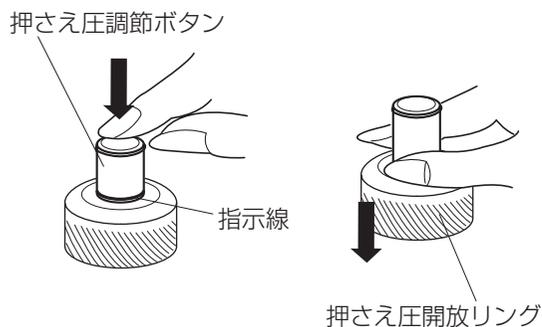
※ この表を目安に針と糸を選び、実際にぬう布のはぎれを使って試しぬいをして確かめてください。

※ 原則として、上糸と下糸は同じものを使用してください。

※ 厚物ぬいで20番糸を使用する場合には、【フジックス】キングポリエステルミシン糸 20番 / 1000m を推奨します。

※ 付属品には針 14番、とレザー針が付いています。

●押さえ圧調節ボタン



押さえ圧調節ボタンを押して、ぬいに適した押さえ圧に調節します。

押さえ圧を強くするには、押さえ圧調節ボタンを押し込みます。

押さえ圧を弱くするには、押さえ圧開放リングを押しさげて、一度押さえ圧調節ボタンを最上部にもどし、再度押さえ圧調節ボタンを押し込みます。

◆ 普通の布は、押さえ圧調節ボタンを指示線に合わせてます。(A)

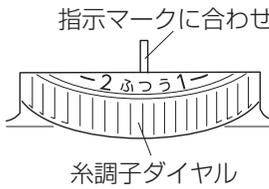
◆ 中厚、厚物の布の場合は、押さえ圧調節ボタンを指示線からいっぱい押し込んだ位置で調節します。(B)

●糸調子を出すには

布の種類によって、糸調子のバランスがとれないときは、糸調子ダイヤルをまわして調節します。

※ 糸調子が正しく調節されていないと、ぬい目がきたなくなり、布にしわがよったり、糸が切れたりします。

《普通の布の糸調子目安》



(3 ← 2 ふつつ 1 → 0)

《中厚の布の糸調子目安》



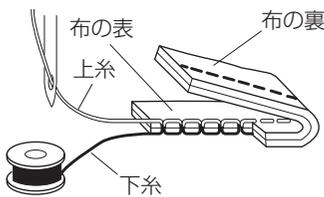
(6 ← 5 ..中厚.. 4 → 3)

《厚物布の糸調子目安》



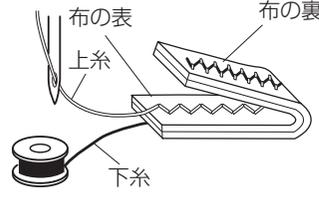
(9 ◀ 8 厚物 7 ▶ 6)

《直線ぬいの正しい糸調子》



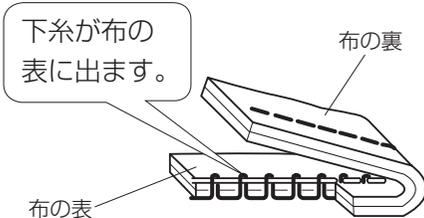
上糸と下糸が布のほぼ中央でまじわります。

《ジグザグぬいの正しい糸調子》

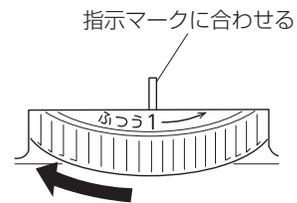


ジグザグぬいの糸調子は、布の裏側に上糸が少し出るくらいに調節します。

《上糸が強すぎる時》

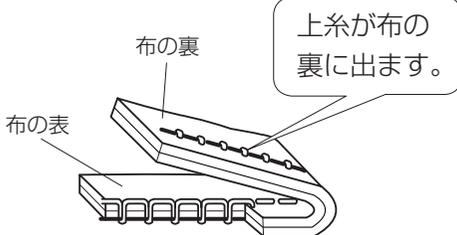


下糸が布の表に出ます。

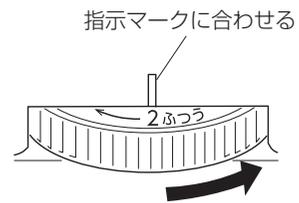


数字を小さくします。

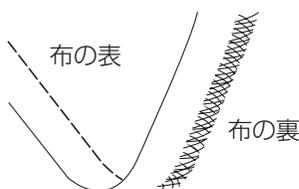
《上糸が弱すぎる時》



上糸が布の裏に出ます。



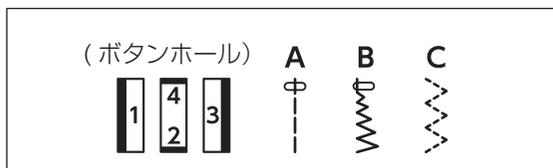
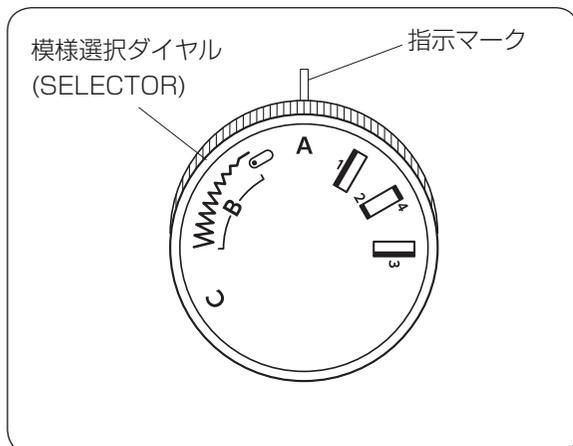
数字を大きくします。



布地の裏がタオル地になる場合

図のように布地の表側は普通にぬえて、裏側がタオル地のようになるのは、上糸の糸調子が弱いか、上糸のかけ方がまちがっています。上記のやり方で上糸を調節するか、上糸を正しくかけ直してください。(「●上糸をかけるには」11ページ参照)

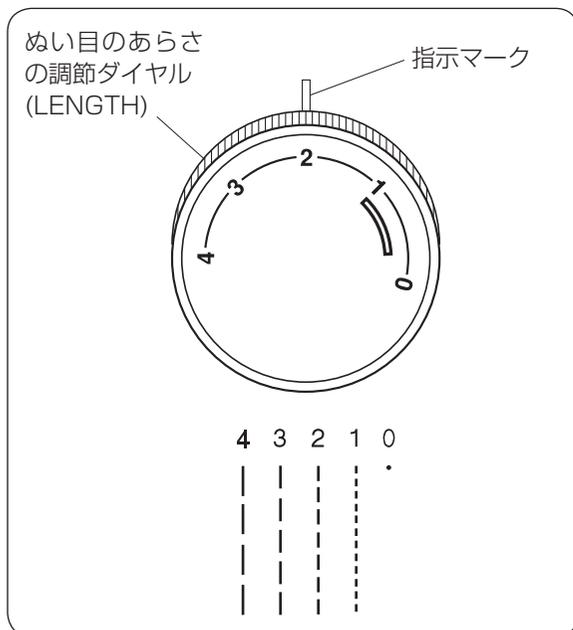
●模様選択ダイヤル (SELECTOR) で模様を選ぶ



針をあげて模様選択ダイヤル (SELECTOR) をまわし、指示マークに模様 (記号) を合わせ、模様を選びます。

※ 針が布にささったままで模様選択ダイヤル (SELECTOR) をまわすと、針が曲がったり、折れたりする原因になります。

●ぬい目のあらかさ (LENGTH) の調節



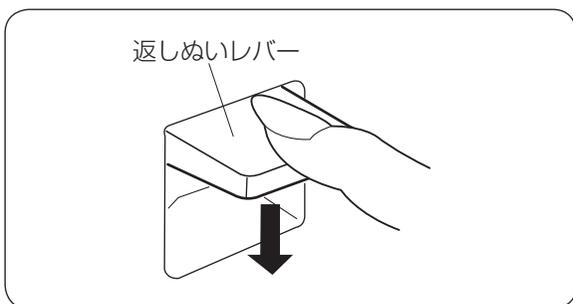
ぬい目のあらかさの調節ダイヤル (LENGTH) をまわして、数字を指示マークに合わせ、ぬい目のあらかさを調節します。

※ ボタンホールのはきは、 マークの範囲で合わせてください。

《例》

模様選択ダイヤル (SELECTOR) をまわし、指示マークに記号「**A**」に合わせておいて、ぬい目のあらかさの調節ダイヤル (LENGTH) をまわすと、ぬい目のあらかさは図のように変化します。

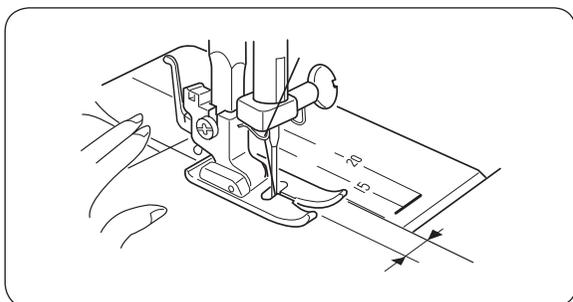
●返しぬいレバー



ミシンを動かしている途中で返しぬいレバーを押すと、押しているあいだは返しぬいをし、指をはなすと、前進ぬいにもどります。

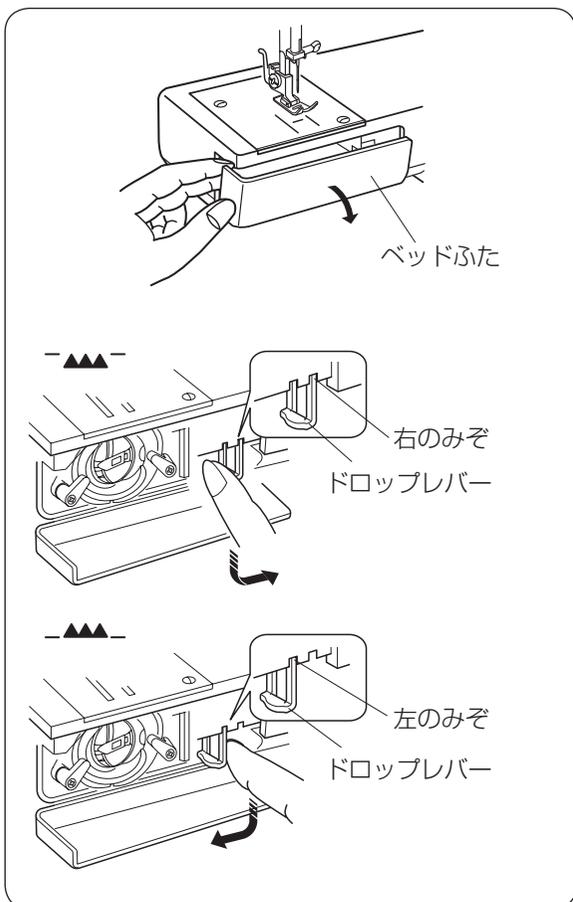
※ 返しぬいのぬい目あさは、2.5 mm 以上にはなりません。

●針板ガイドラインの利用



布端を針板のガイドラインに合わせてぬうと、布端から正確な位置にぬうことができます。ガイドラインの数字は、ぬい位置（針板の穴の中央）からガイドラインまでの距離を「インチ」と「ミリメートル」で表示しています。

●送り歯のさげ方、あげ方



ベッドふたを開きます。

【送り歯をさげる】

ドロップレバーを押しさげそのまま動かして、右のみぞに入れます。

【送り歯をあげる】

ぬい終わったら、送り歯をあげる位置にセットします。

ドロップレバーを矢印の方向に押し左のみぞに入れます。

手ではずみ車を手前にまわし、送り歯があがっていることを確認します。

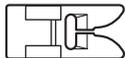
●直線ぬい

《セットの目安》

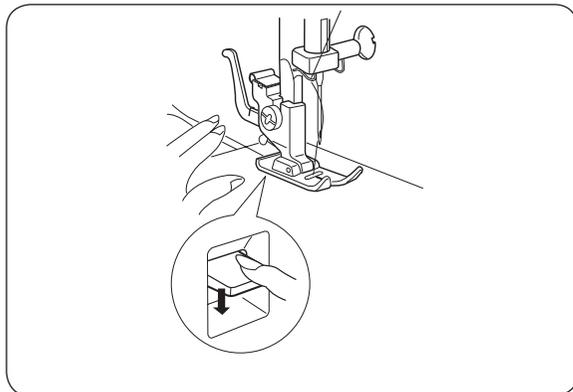
模様選択ダイヤル (SELECTOR)A

ぬい目のあらかさの調節ダイヤル (LENGTH).... 1.5 ~ 4

押さえ.....基本押さえ

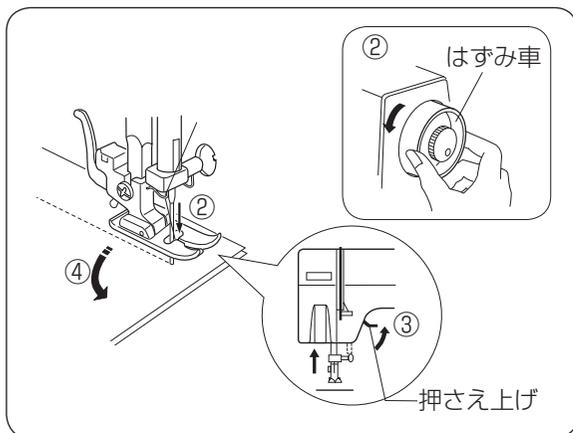


糸調子ダイヤル.....1 ~ 3 (ふつう)



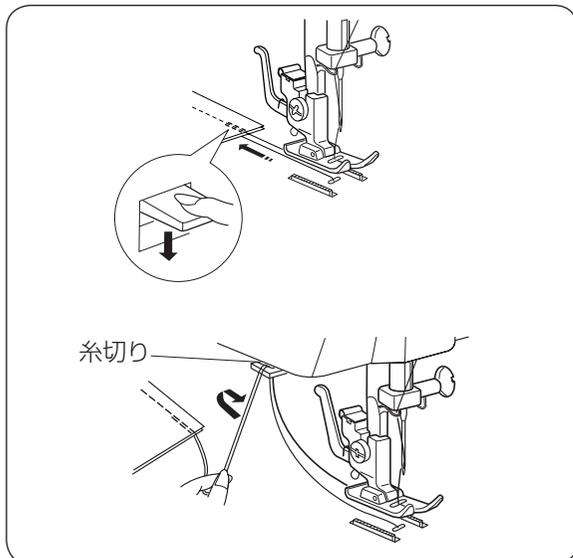
★ぬい始め

糸と布を左手で押さえ、はずみ車を手前にまわして、ぬい始めの位置に針をさします。押さえ上げをさげて、ゆっくりぬい始めます。
※ ぬい始めのほつれ止めは、返しぬいレバーを押しながら数針返しぬいをします。



★ぬい方向をかえる

- ① ミシンを止めます。
- ② はずみ車を手前にまわして、針を布にさします。
- ③ そのまま押さえ上げをあげます。
- ④ 布をまわしてぬい方向をかえます。
- ⑤ 押さえ上げをさげ、ぬい始めます。



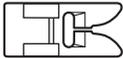
★ぬい終わりと糸の切り方

返しぬいレバーを押しながら数針返しぬいをし、ミシンを止めます。はずみ車を手で手前にまわし、針を上にあげます。押さえ上げをあげて、布を向こう側に静かに引き出します。

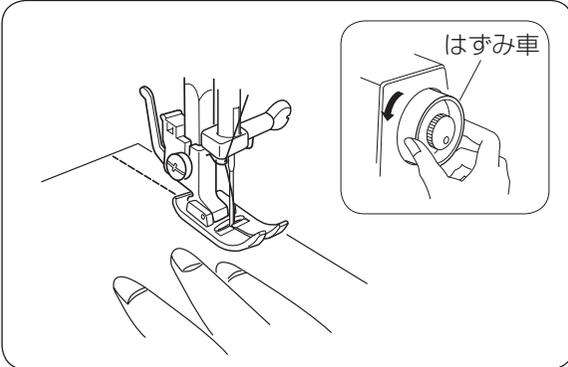
糸切りで糸を切ります。

●厚物ぬい

《セットの目安》

模様選択ダイヤル (SELECTOR) **A** 中
 押さえ 基本押さえ 
 糸調子ダイヤル 3 ~ 6 (中厚)、6 ~ 9 (厚物)
 針 【オルガン】 デニム、ジーンズ用 16 番 (市販品)

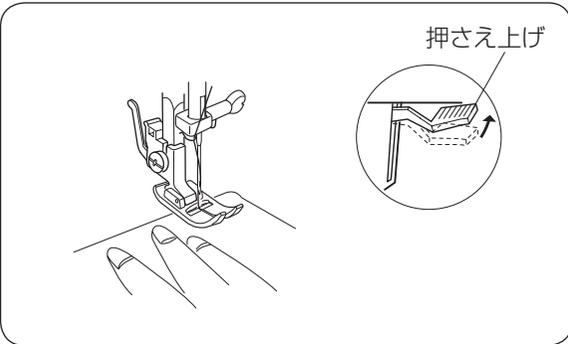
ぬい目のあらかさの調節ダイヤル (LENGTH) 3 ~ 4
 押さえ圧調節ボタン  (いっぱい押し込む)
 糸 推奨 (市販品)
 【フジックス】 バッグ用細タイプ 30 番
 【フジックス】 キングレザー糸 30 番
 ※ 厚物ぬいで 20 番糸を使用する場合には、
 【フジックス】 キングポリエステルミシン糸
 20 番 / 1000m を推奨 (市販品) します。



デニムなどの厚い布をぬうときには、手ではずみ車を手前にまわし、布の送りを補助しながらぬってください。

お願い

必ず、布のはぎれを使用して試しぬいをしてください。
 ぬえる布厚の目安は、12 オンスのデニムで 8 枚までです。
 無理なぬいは、針折れの原因になります。

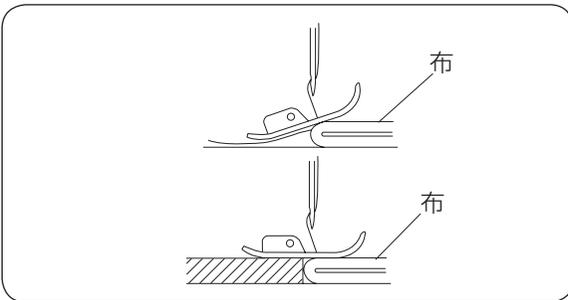


★厚手の布の入れ方

押さえ上げを普通にあげた位置よりさらに高くあげ、保持して布を入れます。

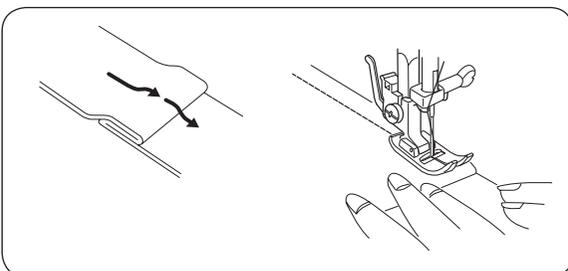
⚠ 注意

無理に布を押し込んだりすると、針が折れたり、曲がったりするおそれがあり、けがの原因になります。



★厚手の布端のぬい始め

図のように押さえが傾いて布を送らない場合には、押さえのうしろに布と同じ厚さの厚紙または使用しない布を置くとぬいやすくなります。



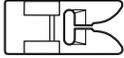
★段部のぬい

布を倒した方向にぬいます。
 手で少しずつ布の送りを補助しながらぬっていきます。

●レザーぬい

《セットの目安》

模様選択ダイヤル (SELECTOR) **A**

押さえ レザー押さえ 

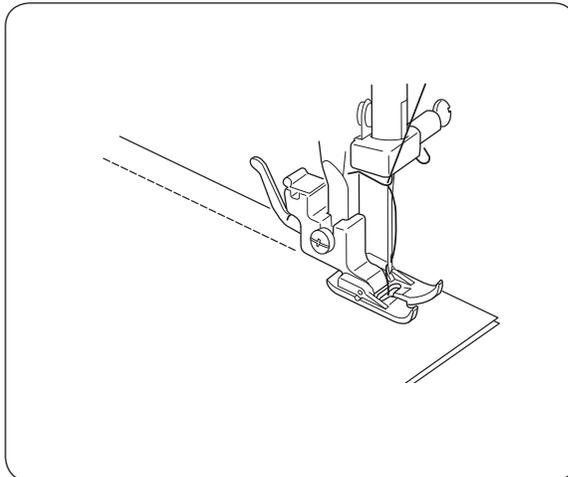
糸調子ダイヤル 3 ~ 6 (中厚)

中

ぬい目のあらかさの調節ダイヤル (LENGTH) 3 ~ 4

針 レザー針使用

糸 推奨 (市販品)
【フジックス】 バッグ用細タイプ 30番
【フジックス】 キングレザー糸 30番



《レザー押さえ》

特殊な樹脂で作られた押さえです。

スエード、ビニール、類似レザーなど、押さえるのすべりにくい素材がスムーズにぬえます。

お願い

布のはぎれを使用して試しぬいをしてください。
ぬえる布厚の目安は、2枚重ねで3 mm 以下です。

ぬい目のあらかさは2.5 mm 以上に設定してください。

※ レザーの種類 (ビニールレザーなど) によって布送りが悪くなったり、送り歯で素材に傷が付くことがありますので、布の下にうすい紙または芯地などを置いてぬうことをおすすめします。ぬい終わったら、紙を取り除きます。

《レザー針》

針先がナイフ状になっていますので、素材への貫通性がよく、普通のミシン針では通りにくい皮素材がスムーズにぬえます。

※ ビニール素材には、通常針、または市販のSP針 (ニット用針) を使用してください。

●ジグザグぬいのたち目かがり

《セットの目安》

模様選択ダイヤル (SELECTOR) **B**

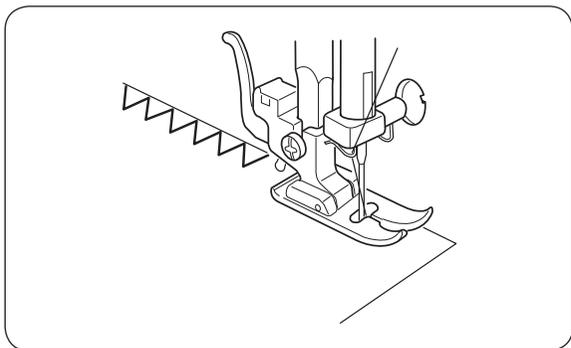


ぬい目のあらかさの調節ダイヤル (LENGTH).... 1 ~ 2

押さえ 基本押さえ



糸調子ダイヤル..... 1 ~ 3 (ふつう)



たち目のほつれ止めをするときには、針が右側にきたとき、布のきわから外れるか外れないかぐらいのところに落ちるようにします。
※ 試しぬいをして、適切な糸調子を出してください。

●ジグザグ密着ぬい (サテンぬい)

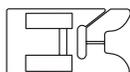
《セットの目安》

模様選択ダイヤル (SELECTOR) **B**

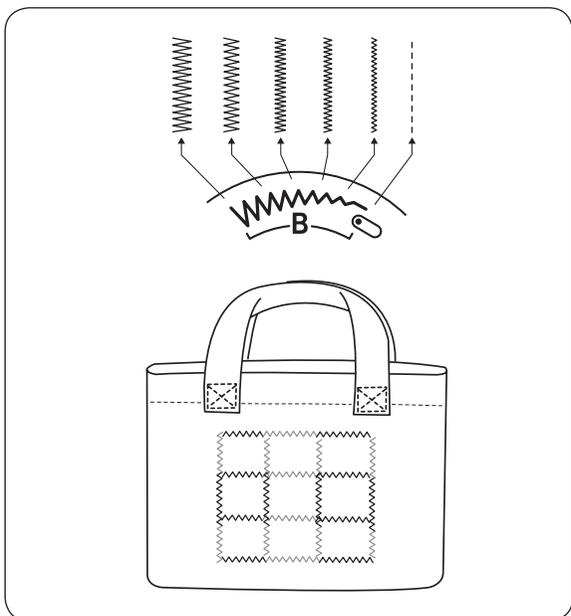


ぬい目のあらかさの調節ダイヤル (LENGTH)0.5 ~ 1

押さえ サテン押さえ



糸調子ダイヤル..... 1 ~ 3 (ふつう)



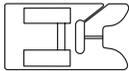
ぬい目のあらかさの調節ダイヤル (LENGTH)を「1」に合わせて模様選択ダイヤル (SELECTOR) を「B」のあいだでかえると、ジグザグ模様は図のように変化します。

飾りぬい、アップリケなどにご利用ください。

●アップリケ

《セットの目安》

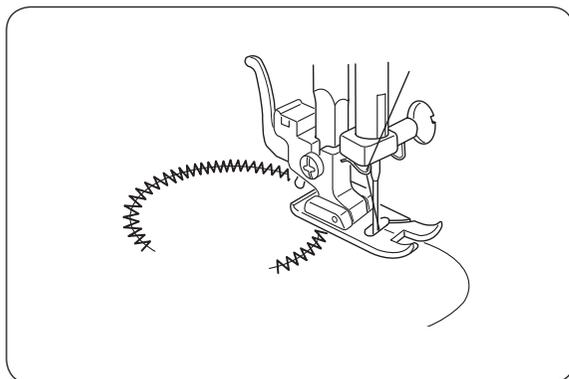
模様選択ダイヤル (SELECTOR) **B**

押さえ サテン押さえ 

糸調子ダイヤル..... 1 ~ 3 (ふつう)

ぬい目のあらかさの調節ダイヤル (LENGTH) 0.5 ~ 1

押さえ圧調節ボタン..... 
($\frac{1}{4}$ に押し込む)



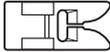
アップリケ布を糊づけするか、しつけで止めます。模様の針位置が右のとき、アップリケ布のふちの外側にささるようにぬいます。

※ カーブのところや方向転換するところではミシンを止めます。はずみ車を手で手前にまわして針をさげます。押さえ上げをあげて、方向をかえてぬいます。

●ボタン付け

《セットの目安》

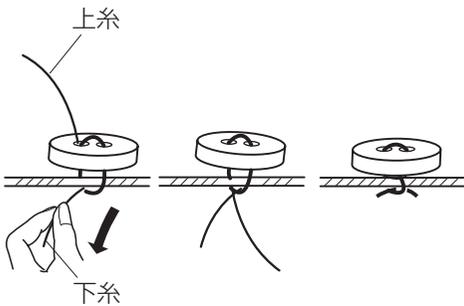
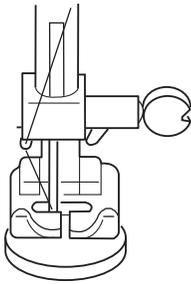
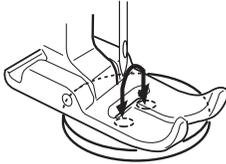
模様選択ダイヤル (SELECTOR) **B** 

押さえ 基本押さえ 

糸調子ダイヤル 1 ~ 3 (ふつつ)

ぬい目のあらかさの調節ダイヤル (LENGTH) 調節は必要ありません。

ドロップレバー 送り歯をさげます。
(18 ページ参照)



- ① ボタンを押さえの下に置き、はずみ車を手で手前にまわしてボタンの左の穴に針をさします。
※ 針が左にきたときボタンの左の穴におりるようにします。
- ② ボタンの左右の穴が真横になるようにボタンを置き、押さえ上げをさげます。
※ ボタンが押さえで固定されていることを確認します。不安定だとボタンがずれて針が折れる恐れがあります。
- ③ ぬい目の幅調節ダイヤルで、ボタン穴の幅とジグザグ幅を合わせます。(17 ページ参照)
はずみ車を手で手前にまわして、ボタンの各穴に針が入るかどうかなを確認します。

⚠ 注意

必ず針がボタンの穴の左右におりることを確認してください。ボタンに針が当たると針が折れ、けがの原因となります。

- ④ ミシンをスタートさせ、10 針くらいぬいたらミシンを止めます。
※ ぬい始めの上糸と下糸はハサミで切り取ってください。
- ⑤ 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸、下糸を約 10 cm 残して切ります。
ぬい終わりの下糸を引いて、上糸を布の裏に引き出し、上糸と下糸を結びます。
※ ぬい終わったらレバーをもどして、送り歯をあげてください。
はずみ車を手で手前にまわすと、自動的に送り歯があがります。(18 ページ参照)

●パッチワーク

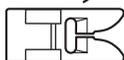
《セットの目安》

模様選択ダイヤル (SELECTOR) **C**



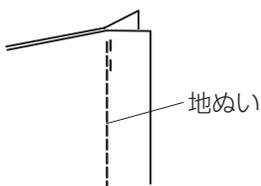
ぬい目のあらかさの調節ダイヤル (LENGTH) 0.5 ~ 1.5

押さえ 基本押さえ



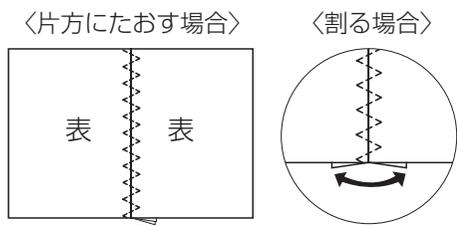
糸調子ダイヤル 1 ~ 3 (ふつう)

①



① 布を中表に合わせて、地ぬいをします。

②



② ぬいしろを割るか、片方にたおします。
模様 C を選び、布の表から地ぬいの線を中心にしてぬいます。

●つくろいぬい

《セットの目安》

模様選択ダイヤル (SELECTOR) **C**

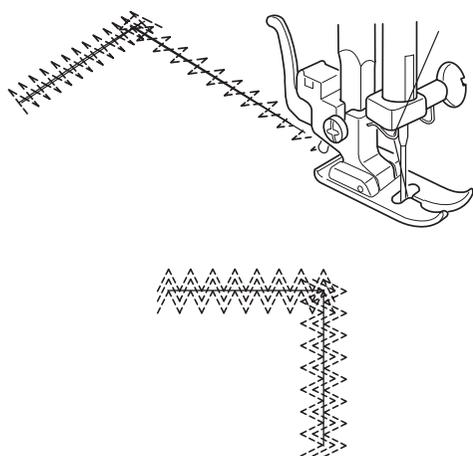


ぬい目のあらかさの調節ダイヤル (LENGTH) 0.5 ~ 1.5

押さえ 基本押さえ



糸調子ダイヤル 1 ~ 3 (ふつう)



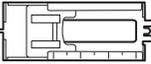
ほつれている部分のぬい合わせをします。

- ① ぬい目のあらかさを 0.5 ~ 1 で、ほつれた部分をつき合わせてぬいます。
- ② ①でぬったぬい目の両側をぬいます。

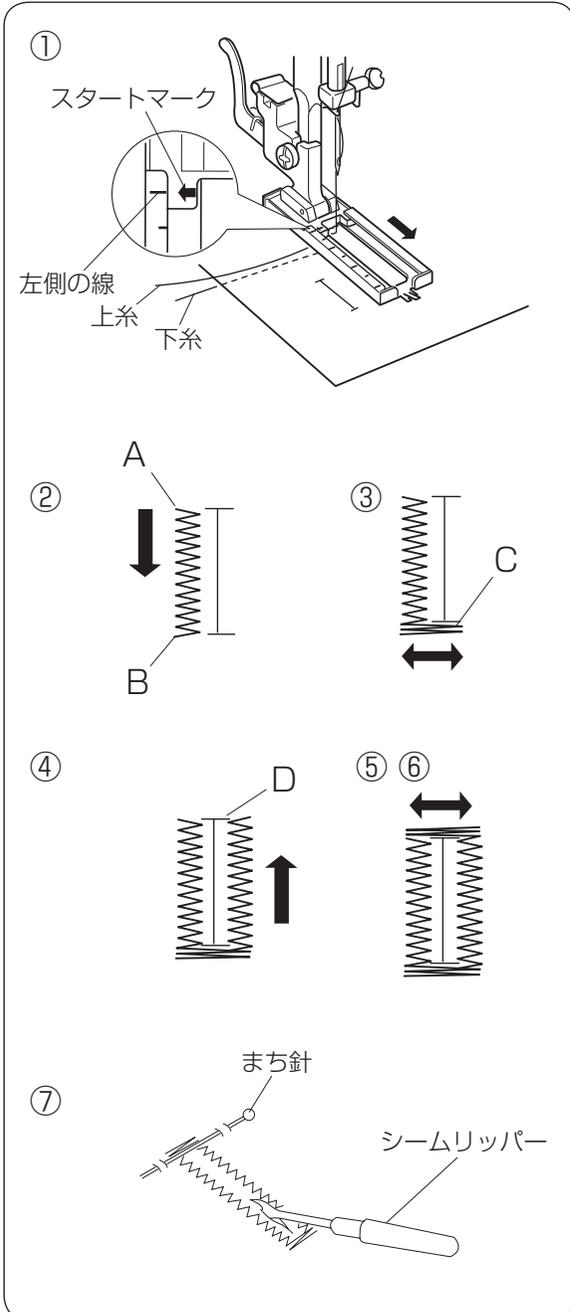
※ ほつれ具合により、裏側から別布を当ててぬいます。

●ボタンホール

《セットの目安》

模様選択ダイヤル (SELECTOR) (1) → 2 → 3 → 2 → 4) ぬい目のあらかさの調節ダイヤル (LENGTH) ... 0.5 ~ 1
 押さえ.....ボタンホール押さえ  マークの範囲
 糸調子ダイヤル..... 1 ~ 3 (ふつう)

- ※ ぬうものと同じ布で試しぬいをして、確かめてからぬってください。
- ※ ボタン穴の位置と大きさをチャコでしるしをつけてください。



《ぬい方》

- ① はずみ車を手で手前にまわして、針をあげ模様 1 を選び、上糸を押さえの穴から下に通し、横に引き出して下糸とそろえ、押さえを手前いっぱいまで引き出してスタートマークを左側の線に合わせます。
- ② ぬい始めの位置 (A 点) に針をさし、押さえ上げをさげて、ミシンをスタートさせます。
左側を必要な長さ (B 点) までぬってミシンを止めます。
- ③ はずみ車を手で手前にまわして、針をあげ模様 2 を選び、かんぬきを 5 針くらい (C 点) までぬい、ミシンを止めます。
- ④ はずみ車を手で手前にまわして、針をあげ模様 3 を選び、左側と同じ長さ (D 点) までぬい、ミシンを止めます。
- ⑤ はずみ車を手で手前にまわして、針をあげ模様 2 を選び、かんぬきを 5 針くらいぬいます。
- ⑥ 押さえ上げをあげて布を引き出し、上糸と下糸を 10 cm くらい残して切ります。
上糸を布の裏に引き出し、上糸と下糸をむすびます。
- ⑦ かんぬきの内側にまち針をさし、シームリッパーでかがった糸を切らないように中央部分を切りひらきます。

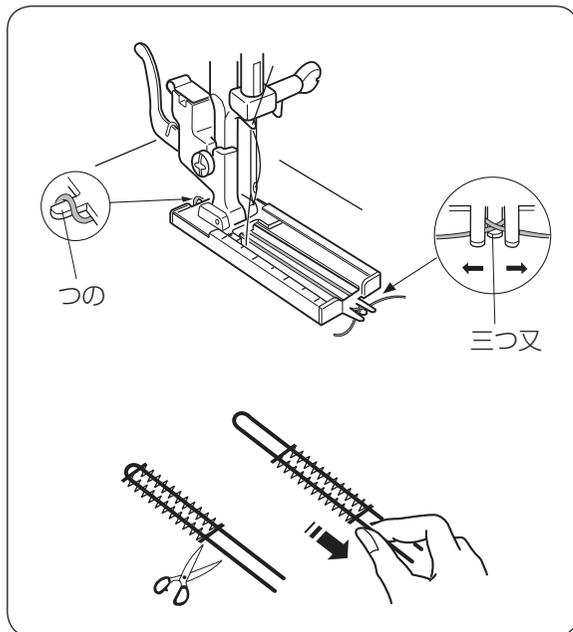
●芯入りボタンホール

《セットの目安》

模様選択ダイヤル (SELECTOR) (1 → 2 → 3 → 2 → 4) めい目のあらかさの調節ダイヤル (LENGTH) ... 0.5 ~ 1

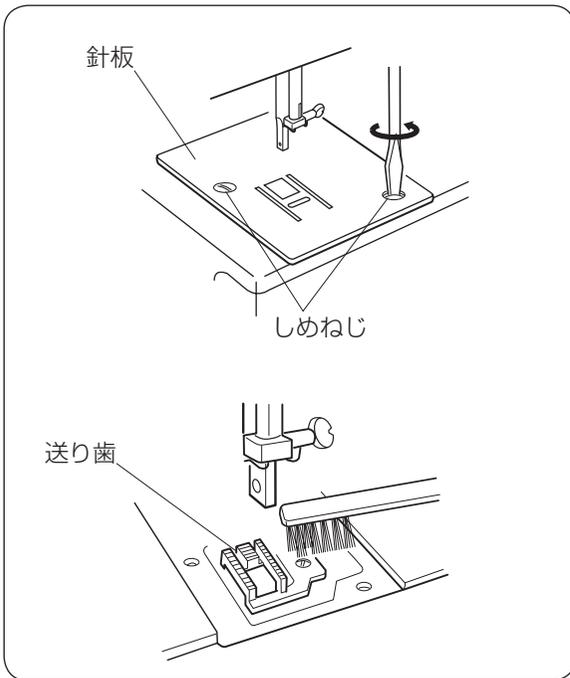
押さえ ボタンホール押さえ  (マークの範囲)

糸調子ダイヤル 1 ~ 3 (ふつう)



- ① 芯糸の輪を押さえのうしろ側にあるつのかかけ、押さえの下から手前に平行になるように引き出し、前側の三つ又にはさみます。めい始めの位置に針をさし、押さえをさげます。
- ② ボタンホール手順と同じようにぬいます。
- ③ 左側の芯糸を引いてたるみをなくし、余分な芯糸を切ります。

●送り歯のお手入れ

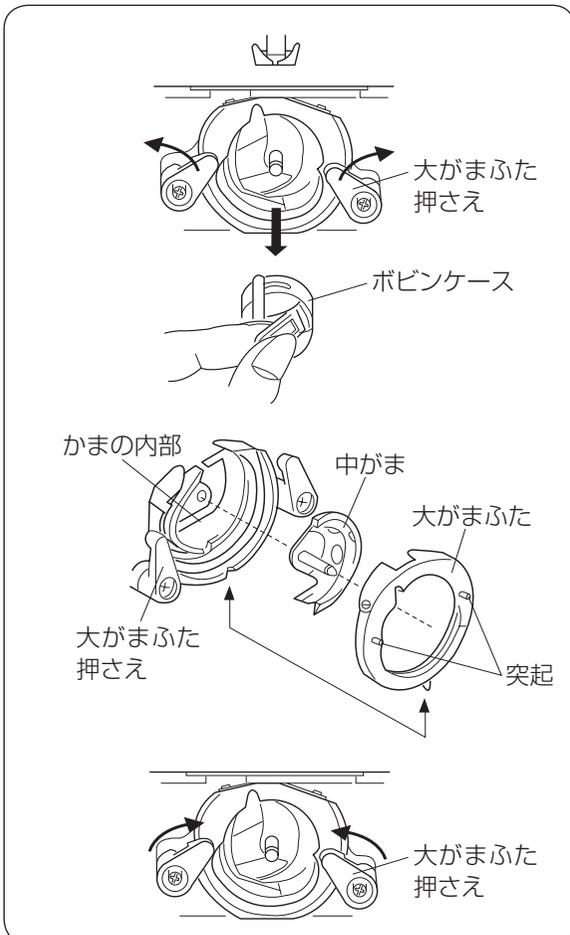


⚠ 注意

お手入れのときには、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、お手入れのときには、説明されている箇所以外は分解しないでください。けがの原因になります。

- ① 針と押さえホルダーを外します。
(13、14 ページ参照)
- ② 針板のしめねじ (2箇所) をドライバーで外して、針板を外します。
- ③ 送り歯のごみをはけ、ブラシなどで手前に落とします。
- ④ 針板を付けて、ドライバーでしめねじをしめます。

●かまのお手入れ



⚠ 注意

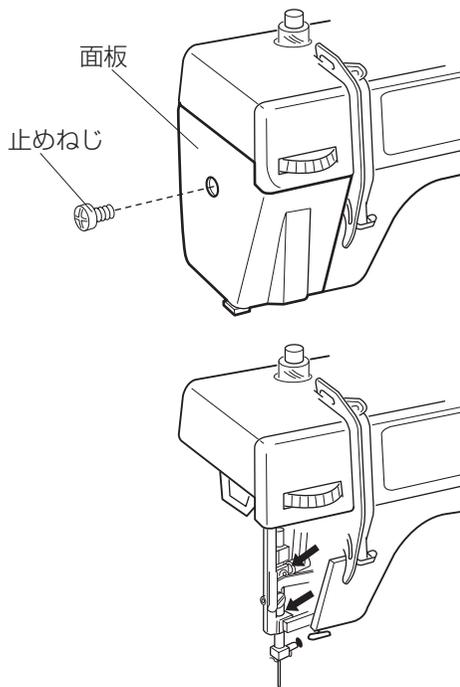
お手入れのときには、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、お手入れのときには、説明されている箇所以外は分解しないでください。けがの原因になります。

- ① 針をあげて、ベッドふたをあけ、ボビンケースを外します。
- ② 大がまふた押さえを左右にひらき、大がまふたと中がまを外します。
- ③ はけ、ブラシなどでかまの内部を掃除し、布で軽くふき取ります。
- ④ はけ、ブラシなどで中がまを掃除し、布でふきます。
- ⑤ 組み付けは、外したときと逆の順序で組み付けます。

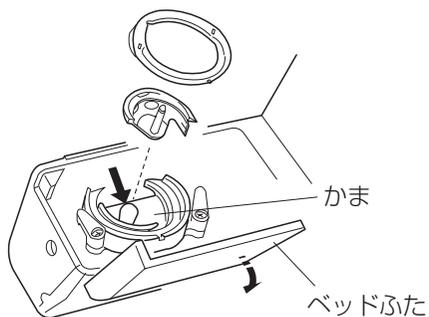
※ **大がまふた押さえは、カチッと音がして両脇の突起が隠れるまでしっかりもどしてください。**
かまのがたつきや、針がボビンケースに当たって針折れの原因となります。

●注油

《面板の中の注油部分》



《かまの注油部分》



⚠ 注意

注油のときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。けがの原因になります。

必ず付属の油さしを使用してください。

- ※ 毎日ご使用のときには、1日1回注油してください。
- ※ 注油後は必ずミシンを回転させ、針板付近または注油箇所付近の余分に付着した油を布でふきとってください。
- ※ 注油後は必ず試しぬいをしてください。

面板の中の注油

面板の止めねじを外して、面板を外します。矢印の部分に2～3滴注油してください。

かまの注油

ベッドふたを開けて、大がまふたと中がまを外します。(28ページ参照)
矢印の部分に2～3滴注油してください。

●ミシンの調子が悪いときの直し方

調子が悪い場合	その原因	直し方
上糸が切れる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外のところからみついている。 2. 上糸調子が強すぎる。 3. 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。 4. 針の付け方がまちがっている。 5. ぬい始めに上糸、下糸を押さえの下にそろえて引いていない。 6. ぬい終わったとき、布を手前に引いている。 7. 針に対して糸が太すぎるか、細すぎる。 	11、12 ページ参照 16 ページ参照 14 ページ参照 14 ページ参照 19 ページ参照 19 ページ参照 14 ページ参照
下糸が切れる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ボビンケースに下糸の通し方がまちがっている。 2. ボビンケースの中やばねの中にごみがたまっている。 	10 ページ参照 ケースを掃除する
針が折れる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2. 針止めねじのしめつけがゆるんでいる。 3. ぬい終わったとき、布を手前に引いている。 4. 布に対して針が細すぎる。 	14 ページ参照 14 ページ参照 19 ページ参照 14 ページ参照
ぬい目がとぶ。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 針の付け方がまちがっているか、針が曲がっている。 2. 布に対して針と糸が合っていない。 3. 上糸のかけ方がまちがっている。 4. 品質の悪い針を使用している。 	14 ページ参照 14 ページ参照 11、12 ページ参照 針を交換する
ぬい目がしわになる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸調子が合っていない。 2. 上糸、下糸のかけ方がまちがっていたり、糸が必要以外の部分からみついている。 3. 布に対して針が太すぎる 4. 布に対してぬい目があらずすぎる。 5. 押さえ圧が合っていない。 	16 ページ参照 10～12 ページ参照 14 ページ参照 ぬい目を細かくする 15 ページ参照
布送りがうまくいかない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 送り歯に糸くすがたまっている。 2. ぬい目が細かすぎる。 3. 押さえ圧が弱い。 4. 送り歯がさがっている。 	28 ページ参照 ぬい目をあらくする 15 ページ参照 18 ページ参照
ぬい目に輪ができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 上糸調子が弱すぎる。 2. 糸に対して針が太すぎるか、細すぎる。 	16 ページ参照 14 ページ参照
ミシンが動かない。 はずみ車が回らない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. コンセントに電源プラグがきちんと差し込まれていない。 2. かまに糸やごみがたまっている。 3. はずみ車の大ねじをしめていない。 	6 ページ参照 28 ページ参照 9 ページ参照
ボタンホールがうまくぬえない。	<ol style="list-style-type: none"> 1. ぬい目のあらかさが細かすぎる。 	ぬい目をあらくする
音が高い。	<ol style="list-style-type: none"> 1. かまの部分に糸くすが巻きこまれている。 2. 送り歯にごみがたまっている。 	28 ページ参照 28 ページ参照

ミシンの疑問やジャノメ最新情報はこちらからご確認できます。



ジャノメ HP
FAQ ページ



ジャノメ公式
Instagram



ジャノメ公式
YouTube チャンネル

仕 様	
使用電圧	100 V 50 Hz / 60 Hz
消費電力	55 W
外形寸法	幅 395 mm ×奥行き 156 mm ×高さ 315 mm
質量	7.6 kg (本体)
使用針	家庭用 HA X 1
最高ぬい速度	毎分 860 針

仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

修理サービスのご案内

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は内容をお確かめの上、大切に保管してください。
- 無料修理保証期間内、およびそれ以降の修理につきましても、お買い上げの販売店が承りますのでお申し付けください。

修理用部品の保有期間

- 当社は動力伝達部品、および縫製機能部品を原則として製造打ち切り後 8 年間の基準として保有し、必要に応じて販売店に供給できる体制を整えています。

無料修理保証期間経過後の修理サービス

- 取扱説明書にしたがって、正しいご使用とお手入れがなされていれば、無料修理保証期間を経過したあとも、修理用部品の保有期間内はお買い上げの販売店が有料で修理サービスをします。ただし、次のような場合は修理できないときがあります。
 - 1) 保存上の不備または誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 - 2) 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
 - 3) お買い上げ後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
 - 4) お買い上げ店または当社の指定した販売店以外で修理、分解、改造をしたために不調、故障または損傷したとき。
 - 5) 職業用等過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。
- 長期間にわたってご使用された場合の精度の劣化は、修理によっても元通りにならないことがあります。
- 有料修理サービスの場合の費用は必要部品代、交通費、およびお買い上げの販売店が別に定める技術料の合計になります。

お客様の相談窓口

修理サービスについてのお問い合わせやご不審のある場合は下記にお申し付けください。
お問い合わせの際には、ミシン本体の正面、もしくは保証書にある商品名を控えてください。

株式会社ジャノメ

住所 〒193-0941 東京都八王子市狭間町 1463 番地
電話 お客様相談室 0120 - 026 - 557 (フリーダイヤル)
042 - 661 - 2600

受付 平日 9:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00
(土・日・祝日・年末年始を除く)

メールでのお問い合わせは、ホームページ <https://www.janome.co.jp>
問合せフォームをご利用ください。

